リュウマのガゴウ
THE PSEUDONYM OF RYUMA
2
HIROKI MIYASHITA
宮下裕樹
YOUNG KING COMICS

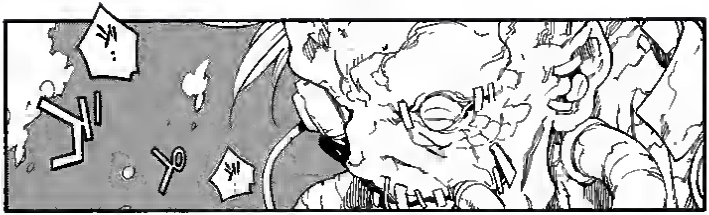
【第7話】
お初に…
お目にかかります
リュウマ様

ああ…
ジンから聞いてるよ
君…えらく優秀らしいじゃないか
めずらしいんだぜジンが人を認めるって…
厳しすぎるんだよおかげで僕はなかなか人と接することができない
これは嫌味だよ
ジン
ゴゴゴ
ゴゴゴ

あぁ
なんで…
こんなことに…
ゴホ…
リュウマ様
空が…
落ちる…

[第7話]

終わる


ゾ…
ゾ
ゾ

おお…
お
繭王様が…

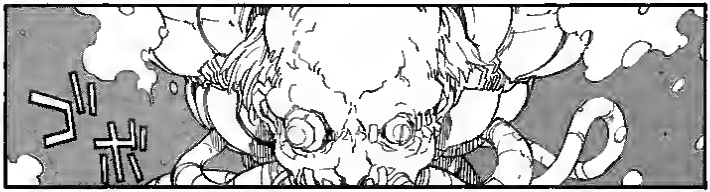
すぐに移想しろ
どんな絵でも情報でもかまわん
映し撮るんじゃ
ゾ…

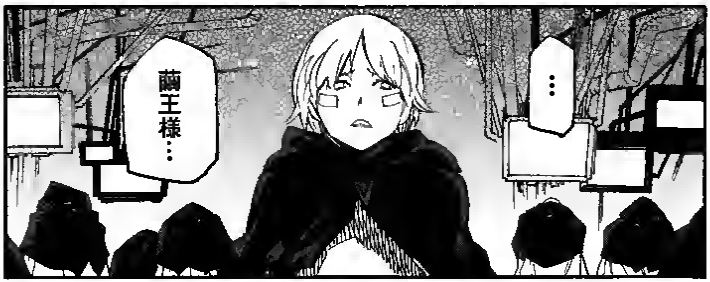
繭王様が…
ゴゴ…
ゴゴ…
夢を見ておられる…

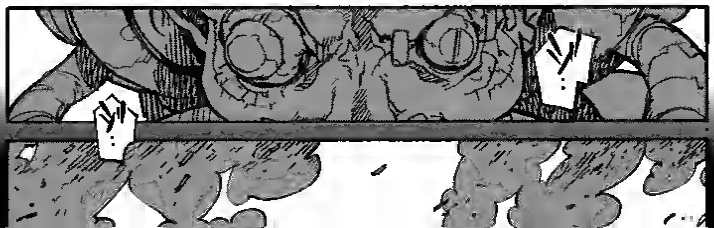
これは…
ノイズが
ひどいな…
またか…

CT50を
投与してみては？
馬鹿者
これ以上 外的
刺激を与えて
貴重な情報を
かき消す気か？

貴重？
最近じゃ出がらして
ろくな物が出んじゃあ
ないか
ただでさえ現王に
やっかまれて
いるというのに…


ゴボ


…
繭王様…


ソ…
ソ…

くそっ
なんで
動かないんだ
ゴン
動け!!
ゴン
キ
ゴキ
動けよ!!
くっ
全ての
全ての電子機器は
焼き切れていると
思え!!
使えるのは
化石燃料を使った
骨董品だけだ!!

七・八番隊は皆の誘導を
この状況だ多少強引でもパニックをおさえろ!!
九番隊長いるな!西区から骨董品を引っぱり出してこい
はっ
用意はしてある!!
十番隊は地下D倉庫からありったけの食料と物資を
一番隊!!いるか!?
!?
あのっ
リュウマ様は!!
ご健在であられるのですか!!
リュウマ様は!!
大丈夫
今も我々を導いておられる

今回のこの未曾有のクーデターも
本当ならば誰一人気付かぬまま起きてしまう所だった
そして今も我々を見ていてくれてる
さあ列にもどって
リュウマ様のおかげで
痛手をともなったが致命傷にはいたらなかった
ジン！
うそだ!! ジン様が
あの近衛師団長がオレ達をうらぎるなんて
ウソだ!!
なんで…こんなむごいことを…

ジン様ぁ!!
どうして…
あ…
ジン…
ジン!!
ジン!!
大丈夫…

我々には
リュウマ様が
ついておられる
なんと愚かなる民衆よ

終末を
予感しながらも
共に生き延びる
のだ!!

護送車の
準備整い
ました
全てを先延ばしにし
相当数ありますが
それでも足りるか
どうか…
生きながらえた
ツケか…

そんな我々を
あの方は
導いてくれた
移動手段 その燃料
逃走経路
この先 必要になる
であろう物資…

そして本来ならば
この枝が落下した衝撃で
誰も何も知らぬまま
全てはチリになっていた

強制的にパージさせることで
被害を最小限に食い止めた

そんなことまで把握し
対処できる男なぞ
どこにいるというのだ

そんな男を
我々は今

失ったのだ

どうして

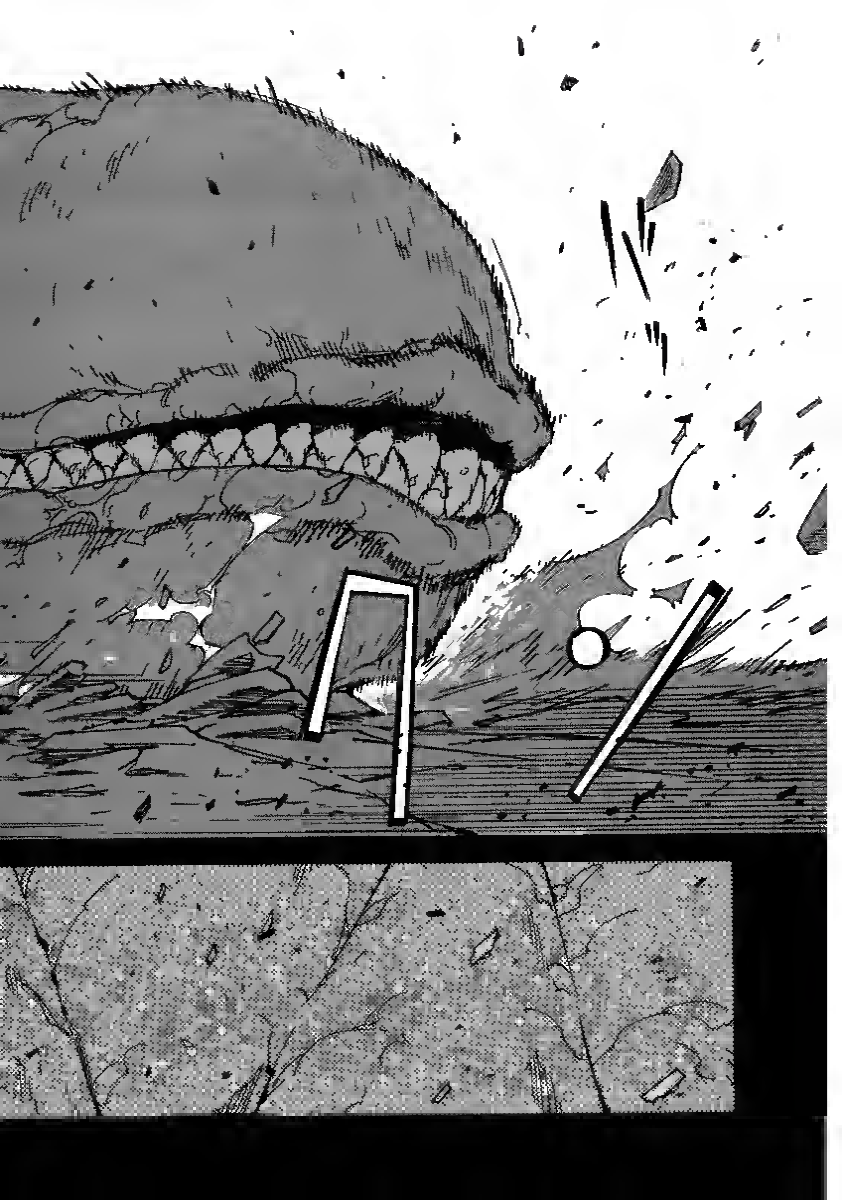
どうして私をあなたと

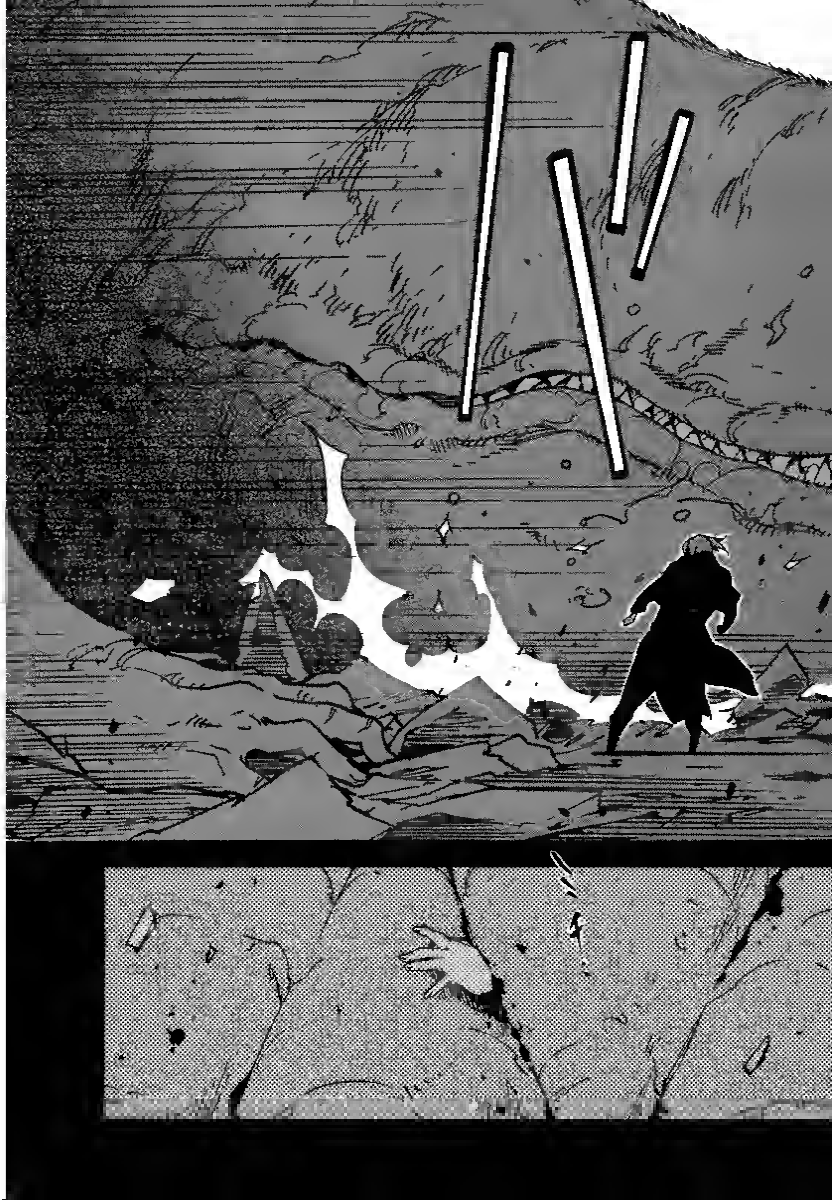
共に行かせて
くれなかったのです

リュウマ様は
そう言ってましたよね
あなたはこれからの国を造る礎となるのです
あなたが…そうおっしゃるのなら…

誰だ!!
なっ
!!
副師団長
その娘が
誰だか…
わかってんだろ!!
貴様ら…
やめて下さい
しかし
こうなることは当然です
そんなことより早くここから離れて下さい

たったら…
あなたも!!
大丈夫
私に任せて
くれれば!!
…私には
予感が
あったのです
ここが一つの
私の最後だと
それに…
これからの時代に
ジンの娘が
生きていくのは
ちょっと
つらいです





えっ
なっ
？
ひっ
あぁ
あ
あ
きゃ
なんだ!?
これ!?

これが…
この
おぞましい姿が…
この化物が
近衛師団副長
その権限を以て
現時点から
「白皮」を
この生命体を
「白皮(はくひ)」と
命名
人類の
仇敵とみなす
全身全霊をもって
殲滅せよ!!!

一番隊
前へ
はっ
白皮の足を
止める!!
ありったけの
銃火器を
ぶちこめ
二・三番
左右から
要撃準備
四・五番隊は
西区からの
経路を確保
かかれぇ!!

駄目です
西区からの
避難経路が
断たれて
います!!
このままでは
西区の住民が!!
は?
どうか
増援を!!
副長!
…北区と
一・七・八・九番隊の
準備は整ったか?
二から六番隊
及び西区全帯を

おとりにして
この地を後にする
なっ
この状況での
最大公約数を優先する
っ…
それがあの方がリュウマが

私に求めた資質
何をしてでも生きのびる
ゴトン
今 全てを失った世界で
私は
全てをギセイにしてでも

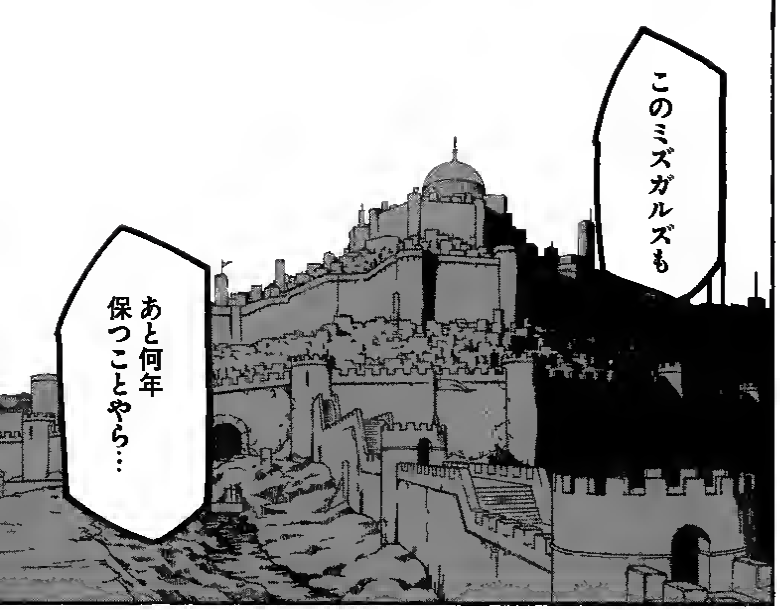
白皮と千年
戦える王国を

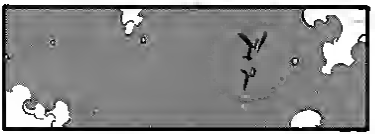
造りなおす

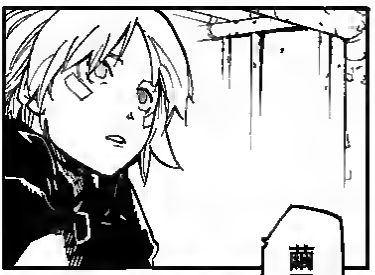
そのために私は…
生き延びる
人を生かし
いつの日にか
いつの日にか
真実を
伝えるのだ

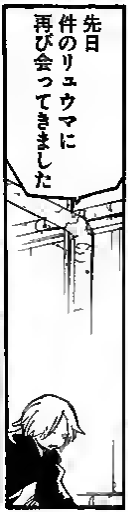
真実を
いつか
ゴゥ…

おおっ
コリ
オノ
この錬金の方は見たことないぞ
ああ これはおもしろい
他に関連した記憶はないか？
ゴゴゴ
ゴン
ダメだ
深く眠ってしまわれた…
次は…何日…いや何ヶ月後になるやら
新しい技術の情報を手に入れたと言っても
いつ使い物になるやら 現王はそこまで待ってくれぬぞ…
まったくいつから藤王の威厳がここまで…
数百年という長寿を気味悪がられておるんじゃ…
先代もそうじゃった
先々代もじゃ
ここもしまいかの
いや それはこの都とて同じことよ…


このミズガルズも
あと何年
保つことやら…

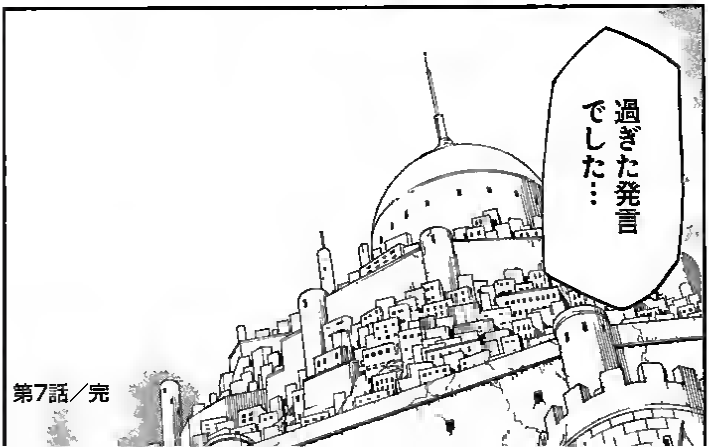



蘭王様


先日
件のリュウマに
再び会ってきました

そうです 例の…
七番隊の末裔の…
はい
人造妖刀の…

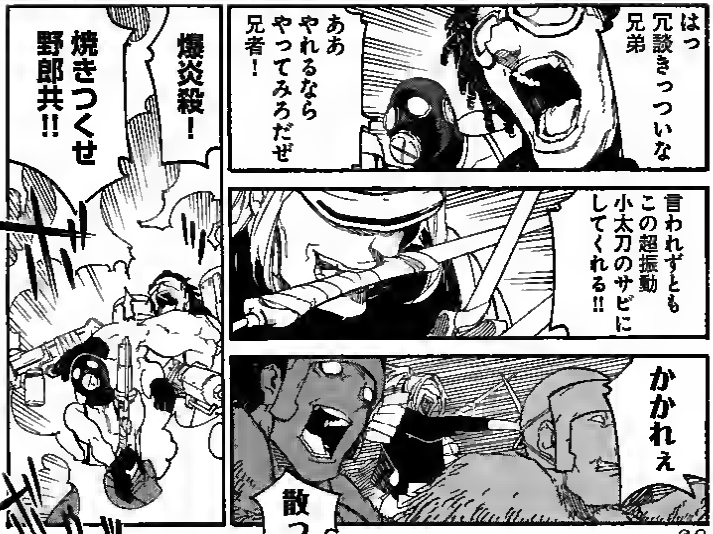
彼らこそが…
……
いえ
申し訳
ありません
ただの気の
迷いです


過ぎた発言
でした…
第7話／完

はっ
この爆炎兄弟
ひきいる爆炎団に
歯向かおうと
思えたもんだぜ
たかだか
その程度の武勢で
よくもまあ

はっ うつけ共が
我が烏丸衆は
一騎当千の
強者ぞろいよ
噛ませ犬の
貴様らと
同じにしないで
もらいたい
まあ
何にしても
今日をもって

ミズガルド最古の
化石燃料地帯は
我等が
もらいうける！


はっ
冗談きっついな
兄弟
ああ
やれるなら
やってみろだぜ
兄者！
言われずとも
この超振動
小太刀のサビに
してくれる!!
かかれぇ
散っ
爆炎殺！
焼きつくせ
野郎共!!

死ねえ!!
ひっ
最悪だ
ついにおっぱじめやがった
ただでさえ限られた資源だってのに
本国の警備隊はどうした!?
んなもんとっくにやられちまったぞ
あいつらどっちも最低なウワサしかきかねぇ荒くれだぞ!!
どっちが勝ってもオレ達は破滅だ
誰かっ
おたすけっ
誰かっ

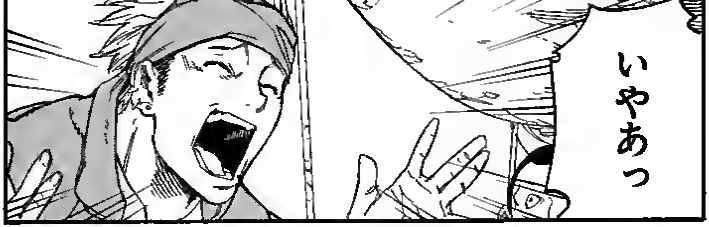
え？

は？
ザッ
な なんだ？
今の…
バン
バン
ザわ…
まさか…
今あそこで
無様に
やられてるのが
ボス達
だってのか？
ざわ…
馬鹿な
あの男に
一瞬で
やられたって
てのか？
あり得
ねぇ!!
兄者が
やられるわけ
ねぇだろ
んなこと
あっちゃいけ
ねぇんだ
この
！
でも
？
起きちゃった
んだなぁ
これが

この変態銃にその鼻!!
まさかてめぇ…
あの
最強メンチのイーグルノーズ!?
お…
おい!
あれ見てみろ!!
あそこにいる女知ってるぞ
なんで…こいつらがこんな所に…
横にいる大男もだ!!
紅の棒術クリムゾン・レイ
ってことはよぉ!この面子ってことはよ
さっきの…
あの男…
まさか…
無双の怪力海坊主
あまき
へかま
んだとぉ!?

ビッグボス
オブ
リュウマ
なっ
っ…
あれが…

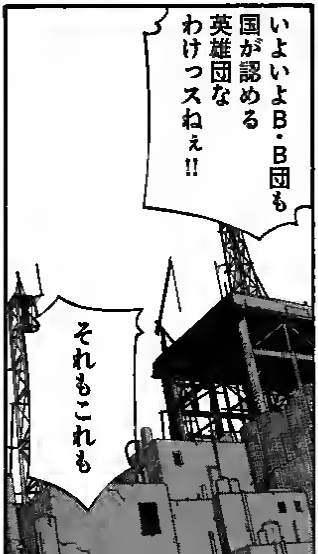
首領達がやられるわけだ
勝てるわけがねぇ
そうだよこいつらが…
あの…
あの…
ビッグボス団!!!


いやあっ

マジ
最高っス！
格好
よかったなあ
隊長達!!
お前らにも
見せてやり
たかったぜ
連中の
あの顔！

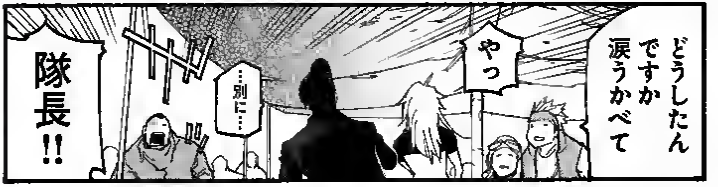
これで
ここいらの
目立った勢力は
我がB・B団(ビッグボス)の
配下となった
わけっスよね

今回の件は
あのミズガルド王国
絡みなわけですし


いよいよB・B団も
国が認める
英雄団な
わけっスねぇ!!
それもこれも

我らがビッグボスあったればこそですよねぇ!!
感激だなああの伝説の御方と共に闘えるなんて…
…まだ一度も話せたこともないけど…おそれ多くて…
隊長達は長いんスよねリュウマ様と
まあな…
B・B団設立からずっとだしな…
ふふ
あの頃は大変だったよね
いいなあ!! オレもいつかリュウマ様と肩をならべて!!
くー
あいつをボスに近づけさせるな…
あのん 桐子にのってボロを出しかねん…
…そうね
まあ… それも…
今は昔の話か…
最近じゃオレでもあの人は本物のリュウマなんじゃ
と勘違いするときがある

なんせ この4年間
あの鬼野郎に
ずっと 鍛えられて
きたからなあ
思い出した
だけで
冷や汗が…
あたし達も
相当
やられたけど…
ボスは正直
いつ死んでても
おかしくなかった
よね…
う…あの人に
ここまで
ついて来て
よかった…
最高です
ボスゥ…
でもそれが
今じゃ…
リュカマ
リュカマ
ありがとう
ございます
おーがとう
ございます


どうしたん
ですか
涙うかべて
やっ
…別に…
隊長!!

また
入団希望者が!
近辺の集落から
若者がウワサを
ききつけたようで
お
ほう…
今度は
まともな奴ら
なんだろうな
よおし
オレが見てやる
新兵ども

おう！
よく来たな
クソ野郎共!!
おい！ 見ろよ
B・B団幹部の
イーグルさんだぜ
すげぇ！
本物だ!!
ふむ
よおし
オレは
やるぜぇ!!
おい てめぇ！
ここは老いぼれが
来る所じゃ
ねぇぜ
ふむじゃ
ねえよ
ジジイ
しかし
うまそうな
フムラだな
それ
入団
希望者か…
まったく
いつのまにか
大きく
なっちまった
もんだぜ

いや…
大きく
なりすぎた…

何 格好
つけてんの？
ボス
うっせ!!
いいだろ別に
ボボ
それに
そうだろ？
これだけの
大所帯に
なっちまって…
ち…
しかも元は…
荒くれ共の
集団だ
…
これまでは
なんとか
だましだまし
やってきたが
それもそろそろ
限界だ

白皮と一戦
交えただけでも
ウチの財源は
火の車だわ
メンバーも…
何度入れ変わっ
たことか…
だからよ
ここいらで
いったん…
落ちついても
いいんじゃ
ねえのか
…
あんたの…
目的は
わかってる…
でも まだ今
ここで無理する
こたぁねぇ…
……
それがお前の
見解か？
ボス

……
だったら
それも
いいかもな

…
ああ

今回のこの一件
だって半分は
ミズガルドからの
依頼だ
ここを拠点に…
警護をまかせても
いいって話だ
うまくいきゃあ
王国付だ

これは好機だ
ミズガルドとの
共闘だって
夢じゃねぇ…
それに
何より

あんたの
その身体…
でもなぁ
ボスよぉ
それじゃあ

手遅れに
間に合わなくなっちまわねえか？
この所…うまくさあ…
憶えてられねえんだよ…色んなことが…
あの世界の枝に何があったのか…
シャ…

早くしないと…何のためにリュウマやってるか忘れちまいそうなんだよ
ギャオ
お…おい待ておちつけ!!
その刀しまえよ!!
さわるなあ!!
っ…

最強最速を
誇った七番隊の
最凶の近接兵器だ
さあ？
…なんの
七番隊だよ…
この刀はかつて…
刀自身が脊髄中枢へ強制的に
干渉することにより
筋力・反射・代謝を
思いのままに強化する
しかし
薬剤の服用と
精密な肉体の
管理なしに
扱えば
神経は腐り落ち
身体中のあらゆる部位が
朽ち果ててゆく
ある者は
四肢を
ある者は
臓腑を
ある者は
正気を

そうして名付けられた名が
物欲し竿
……
やっとだ
やっとここまでに
なったってのに
今さらになって
今さら
だからか
欲に…地位が
惜しく
なったか？
そうだ…
そうだよ
お前を
選んだ
そういう質の
人間だから
わかるか？
簡単な
理由だ

悪党
だったからさ

いつ
この世界から
消え失せても
かまわない
いや…
消えれば
むしろ有益…
そんな悪党

ならず者の
バカ野郎
弱者を
脅す騙すを
生業とする
愚か者
このイカれた
世界に居て
己のことしか
考えられない
バカ共…

そんなクソ共を集めに集め
管理しまとめて
囮にしてやるんだよ

白皮に
ジン…
あの枝を折るために…
ギセイが出るってんなら

〝せめて悪党なら〟
当然そう考えるだろ？
だからさあ

ひよってんじゃねえよ!!
なぁ!!
頼むぜぇボスよ…
色気だしてんじゃねえよ…なあ
なっ

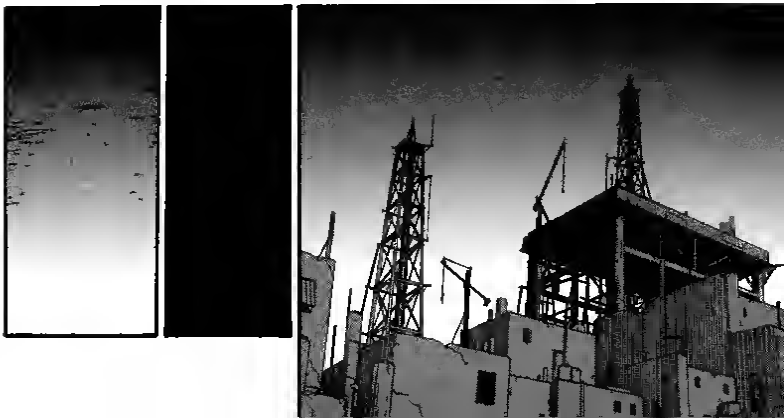
ちっ

ごちゃごちゃと…
うっせえってんだよ…

何が悪党だからだ…

3回目だっつの
その話

くそっ…
くらってんじゃねえよ
こんなパンチ…

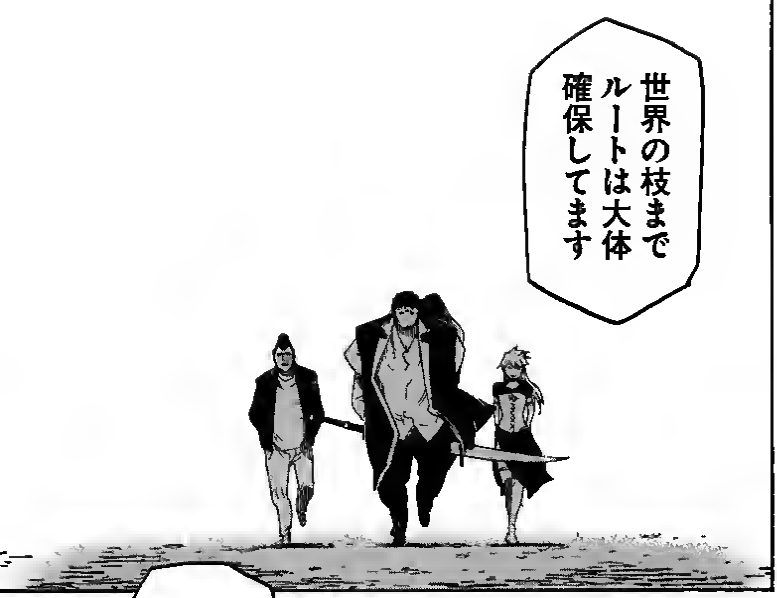


……
おい
あん？
…
右頬が
異常に
いてぇ…
だろうな
そうか
またか
別に
大したこと
言ってねえよ
ただ
明日にでも
オレは
何か言ってたか？

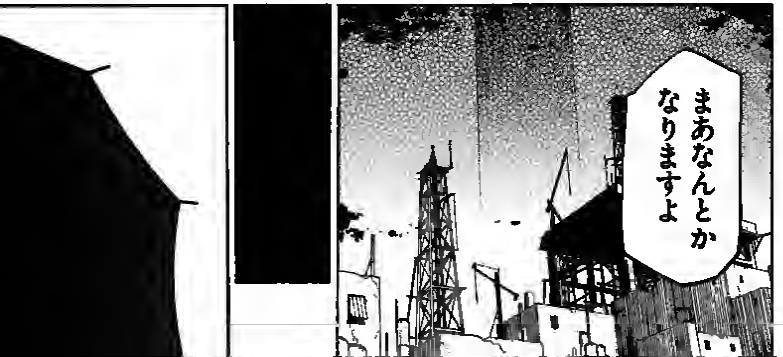
あの目ざわりな
枝を

へし折りに行こう
って話をしただけさ
……
ああ…
よろしく
頼む

どーせ
また酔っぱらって
カン違いしてんでしょ
あ?
酒入ってても
オレには
分かんだよ
あのジジイは
きっと大物になる…
磨けば光るタマ
だぜ…
ん?
ちょっと
ボス達
何してんすか
こんな所で!!
あん?
散歩だよ
だめっスよ
ボスが人を
おぶってる所なんか
見られたら
いいんだよ
オレ様は
そういう
優しさも
兼ね備えた
男なんだよ
知ってます
はい 分かってます
そうなると
思ってましたぜ
準備始め
させてます
やでも一応
リュウマさんは
ボスの護衛って
ことになってんで
こら!!
その名前を
出すなって
やべっ
いいんだよ…
それよりお前ら
やっぱな…

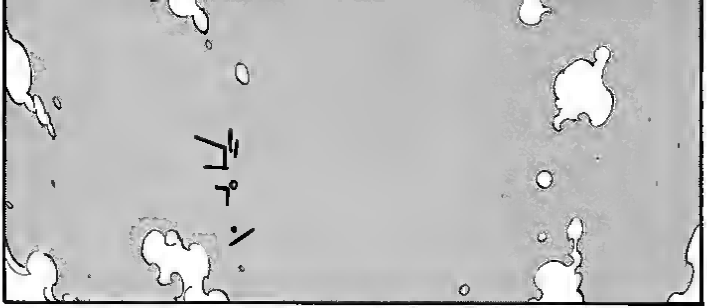

世界の枝まで
ルートは大体
確保してます

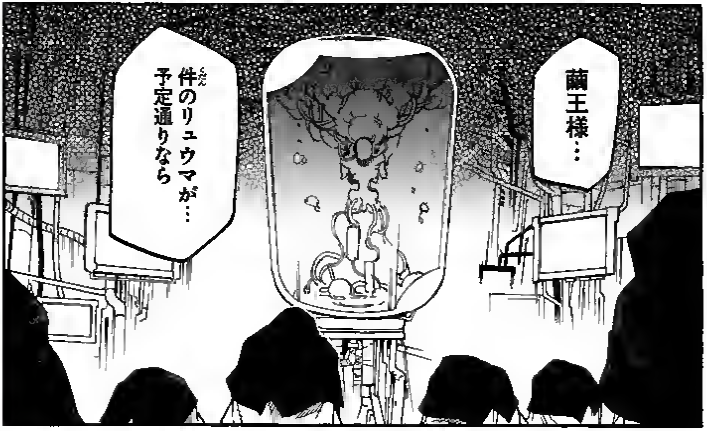
さすがに
蘇(よみがえ)までは
調べに行く奴が
いなかったん
ですが…

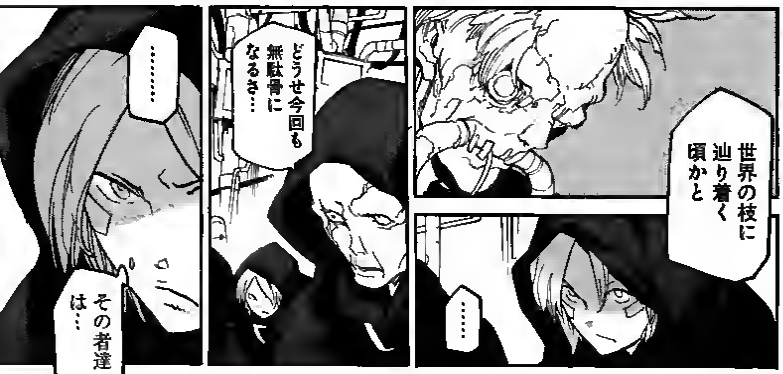

まあなんとか
なりますよ

あ
は

よ…
ようこそ
リュウマ







【第9話】

[第9話]

世界の枝に
たどりついた

蘭王様の
記憶から道筋を
辿ったと言えど

その道程は
困難を極めた
はずだ

グニバヘッリルの
絶壁

ガルムの
磁気嵐

この星の
崩壊しつくした
環境の中において

この世界の枝の
周囲は

さらに異彩を放つ

しかし…

これからなのだ

問題なのは…

そう…

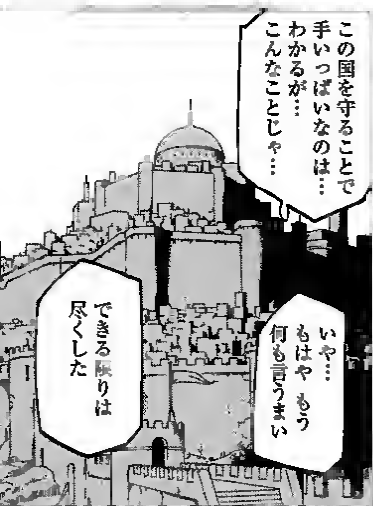
おそらく
待ち受けるは…

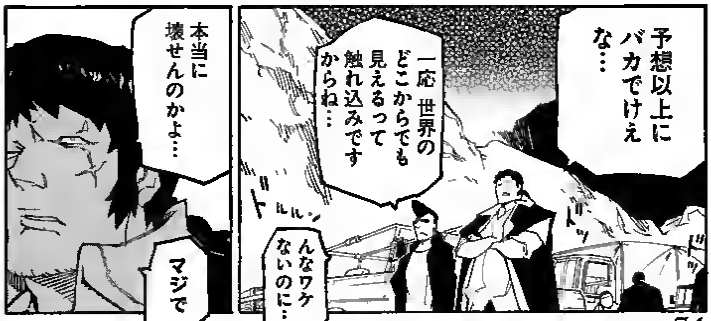
災厄の
「ジン」

嘘か
まことか
人災なのか
天災なのか
リュウマと
表裏と称される
悪魔

しかし…

老院の中でさえ
今回のリュウマを
推す者は少ない
…現王に至っては
兵を出すことを…
共闘することさえ
拒んだって話だ…

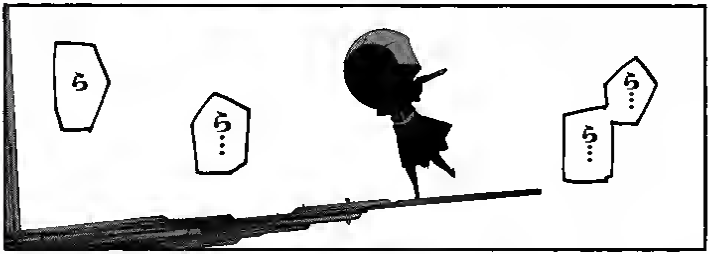

この国を守ることで
手いっぱいなのは…
わかるが…
こんなことじゃ…
いや…
もはや
何も言うまい
できる限りは
尽くした


予想以上に
バカでけえ
な…
一応 世界の
どこからでも
見えるって
触れ込みです
からね…
ドッ
ドッ
ドッ

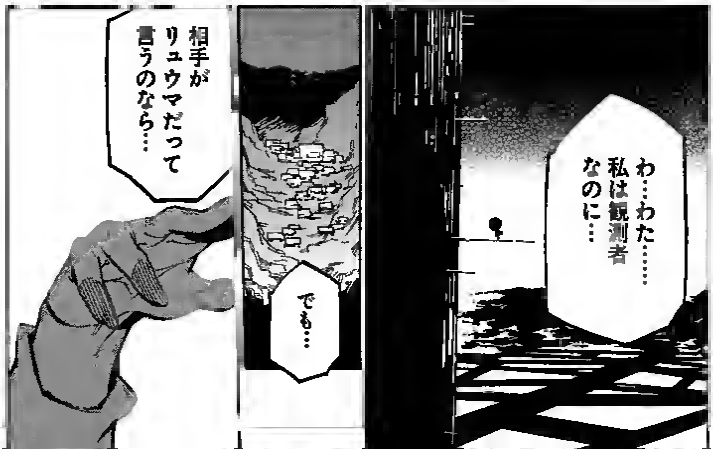
この程度の爆薬でよ
ドドドドド
ドドドド

15ヶ所あるゲートをくぐり中央なんとかを抜けて…ぇ〜と
だ 大丈夫っスボスは何も考えなくて！
そういうのはオレらに任せといて下さい！
コラ!! なんて言い草だ
オレ達はリュウマの一団だ!! そこを忘れるんじゃねえぞ!!
なあジイさん
ボスは筋肉に記憶領域が備わってんだよ！
オラ！ お前らここからが正念場だぞ
ジイさん
おんた初陣だな!!
大丈夫 おんたのカは オレが保証してやるかよ
……
要所に…ね…

ら……


ら…
ら…
ら…
ら

わた…
こま…
こま……
困ったわ…
と…
とっても
困ってるの…


わ…わた……
私は観測者
なのに…
でも…
相手が
リュウマだって
言うのなら…

黙って
見過ごすって
わけにも
いかないと
思うの

あなたも
そう思うでしょ？
……
ふふっ
ら…
ら…
ら…

ナ…
ら
ナーン
ナナーン
ら…
ら
ブブ
ナン
ブブブ…
ら…

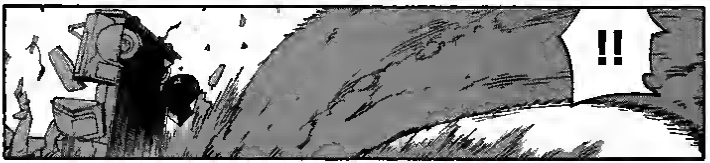
うわ
おい！
今の
すげぇ
近くに
落ちたんじゃ
ねえのか!?
風が…
雨だ
この標高の
雨はまずいぞ
酸の汚染がっ
おい！はやく
シートだせ
耐性のない
奴は車内へ
いけ
ボス！

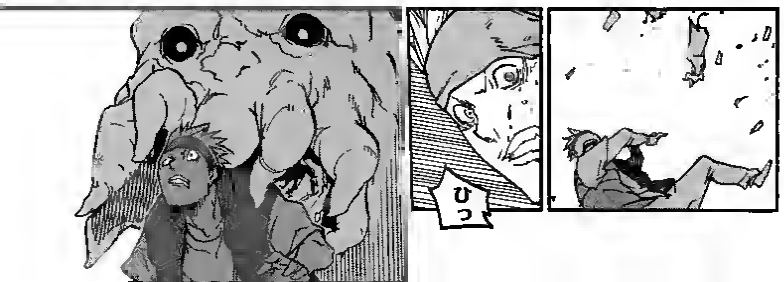
ボス 前の磁気嵐程じゃないにしても一応マントを
オレは大丈夫だ耐性があるそれよりもだ
陣を乱れさせるな
えっ
ゴゴゴ…
問題なのはこの酸の雨じゃねぇ…
おい！
？
こっちにもシートを
銃器を濡らすんじゃねぇぞ
はやくしろよ
ったく
よ

か…顔？
人の顔!?
なんだ…
こいつ？
ゴッ
キッ
ゴッ
キン
チュ
はっ…
白皮!?
これも
白皮
なのかっ!?

うわああ
う

おい馬鹿野郎！逃げんな
持ち場離れるんじゃねえ
わあぁ
っ…


!!


ひっ

よお

久しぶりだな
会いに来てやったぜ
蛭の白皮共
おい
はい！
お前らが今まで戦ってきた白皮は白皮にあらずだ
どういう理屈か知らねえが…
白皮ってのはどこかに必ず

人の特徴を持っている
その気が強い白皮こそがオレ達に対して
強い敵意を見せてくる
はい…
同族嫌悪だかなんだか知らないが
なめてかかれば喰い殺される
だが…
それ以上に

むかついてんのはオレ達も
同じなんだよ!!

そうだろ!!
ビッグボス団

おおお!!
すげえ
さすがボス!
リュウマ

負けてねぇ
あの白皮にも
リュウマは
負けねぇ!!
オレも
やるぞ
そうだ
やれるぜ
オレ達にも
リュウマ!
よし!
お前ら!!
ボスに続くぞ
そうだ
リュウマに!!
隊列を
整えろ!!
ギャギャギャ
ルル
レル
機動力では
こっちが
上だ!!
ギャギャギャ…
そして
!

その機動力を活かす
武器も用意した
ドドド

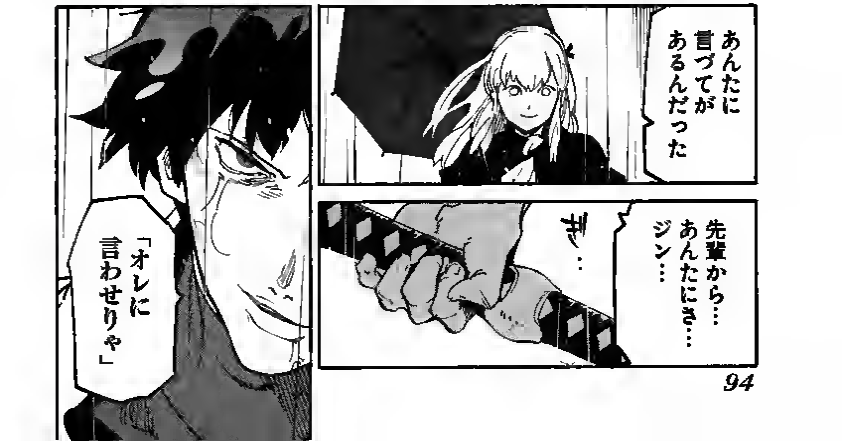
リュウマ!!
リュウマ!!
リュウマに!!
ズ…
ゴォ…
……
リュウマ

あの統率からの白皮への対処
部隊の統率の仕方
この環境を前もって知ってたかのような動き
……
リュウマ
リュウマ
リュウマ
と……盛り上がってしまってて私は
なんだか とっても白々しく思えるの…
だって皆ニセ物とも知らずに…
いえ…私に言わせれば…

あなたもニセ者なのだけど…
ねぇ リュウマさん
カラ カラ…
しかし…ウチの子達も困ったものだと思うの
こんなわかりやすい陽動にかかって…
こんな所にまで侵入されてしまって…
まぁ…タイミング 侵入経路 カモフラージュ どれも完璧だったし 仕方ないかしら
全く…

困ったものね…
あの副長…
いえ…
今は閉じ込もりの
繭と言った方が
いいのかしら
いちち…なんだ
いきなり横転
したぞ…
おい…
なんだよあれ…
子供か？
隊長！
大丈夫すか!?
そうか…
てめえが
ジンか

ジン!?
隊長?
え…そのガキが
え?
まぁ…
ゴリ
丁度いいか…
正直 薬で騙し騙しってのももう限界だったし
記憶も もう前後してきてんだわ
あーそうだ
?


あんたに言づてがあるんだった
先輩から…あんたにき…ジン…
ぎ…
「オレに言わせりゃ」

「あんたも」
「ニセモノだぜ」
「ジン」

ボス
どうします？
ボチボチ弾も
尽きかけてくる頃
ですぜ!!
……
ボス!?
!
ああ
そうだな
!?
くっ

いいか
てめえら!!
油断してんじゃ
ねえぞ
おぉ
おぉ
立ち止まるな!!
止まれば
殺られる!!
…

そして
ひきつけて
逃げきるぞ
生き残れ
…
ボ…
ボス
あ?

一応あなたも七番の…

ってことでいいんでしょうかね

リュウマ

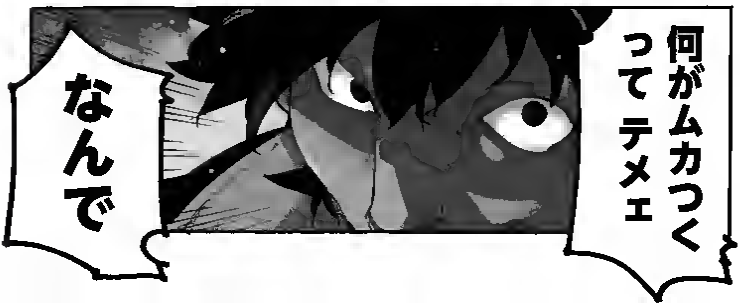
[第10話]

[第10話]

ひっ
く
下がれ
退くんだ！
なっ
なっ
な
……
おまえ

七番の…
ということに
なるのか？
リュウマ

七番隊の
物欲し竿ではなく
訓練用の
鉛を振り回して…
ただの
半人前か？
あ？
どうやら
味方ってわけじゃ
なさそうだな…
その目…

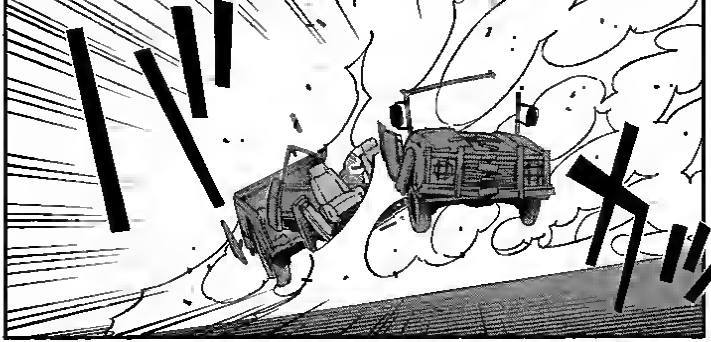
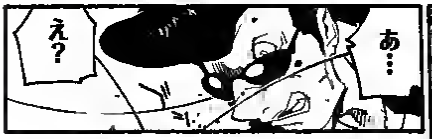
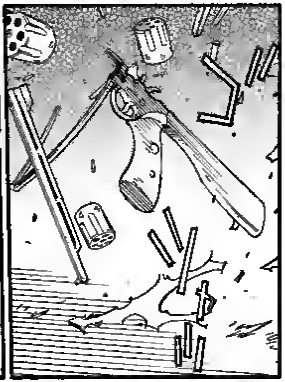

何がムカつく
ってテメェ
なんで

人間が
そっち側に
ついてんだよ！
ちっ
ったく…
!?
何があっても
驚くつもりは
ねぇが

どうなってやがんだよ
宙に留まるたぁ…
それ
とんだビックリ人間だぜ…
ウデも多くねぇか？

このっ

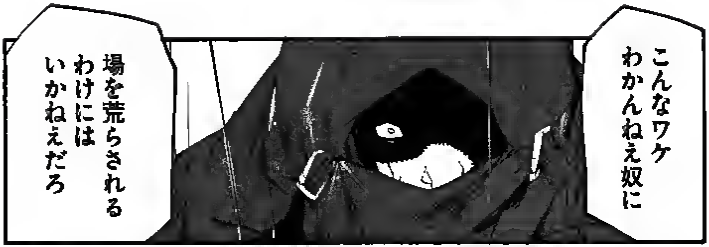
宙を
移動した!?

え？
あ…
…
ほう

我が妖糸を
通さぬとは…
ただの紐…
というわけでも
ないのか
!!

おい
イーグル
ここは
オレ様に
任せろ
しっ しかし
ボス!!
しかしじゃねぇ
どう考えたって
オレ向きだろ
あいつは
それに
オレ達の
仕事は
囮だ
ただでさえ
必要以上の
白皮を
相手にしてる
ってのに


こんなワケ
わかんねえ奴に
場を荒らされる
わけには
いかねえだろ

こいつはオレ様が
速攻つぶす
お前は作戦通り
白皮をひきつけ
逃げきることだけ
考えろ
しかし…
こんな所にボスを
置いては…
いいんだよ

よく考えたら
……
あんの野郎
ちょっと
ポンコツなん
だからよ

ちょっと
オレ様が
助けに行って
やんねえとな

ボ…
ボス!!
大丈夫ですか!?
はやくこっちに移って下さい!
ボス…

戻って来て下さいよ!!
ボス!!
え?
何?
どうしたのボスは!?

ちょっと別にあんた助けに来たわけじゃ!!
いいから出せ!!
ボスの命令だ!!

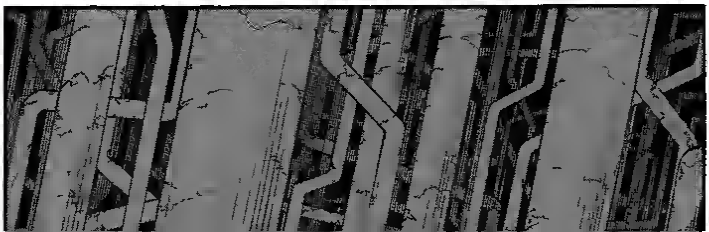
ちょっ!!
ボスぅぅ
さてと…

待っててくれるたぁいい所あるじゃねえか
でもなあ悪いがこっちは時間がないんでね

出し惜しみは
なしだ
本日
二本目だ
……

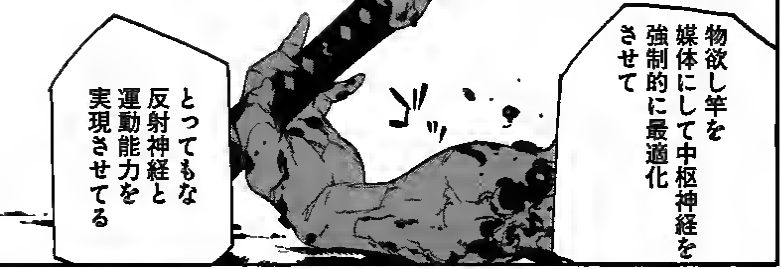
さあ
たかまって来たぜ
ゴッ
ズッ

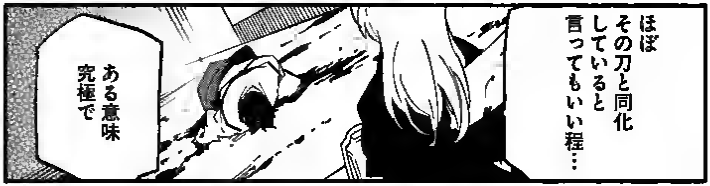
かかってきやがれ

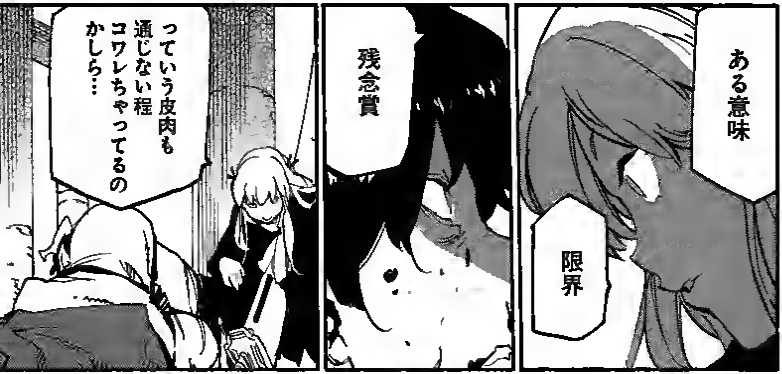


ふ
すごい
だって
そうでしょ
今までに
私に刀を突き立てた
人なんて…

数える程にしか――
人がここまで
やれるってすごく
素晴らしいと思うの


物欲し竿を
媒体にして中枢神経を
強制的に最適化
させて
とってもな
反射神経と
運動能力を
実現させてる

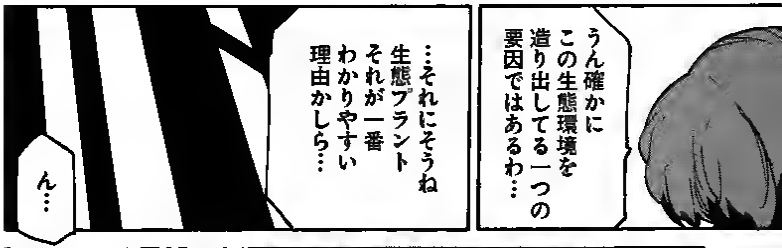

ほぼ
その刀と同化
していると
言ってもいい程…
ある意味
究極で

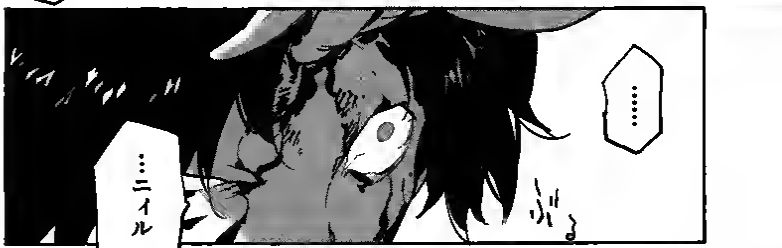

ある意味
限界
残念賞
っていう皮肉も
通じない程
コワレちゃってるの
かしら…

よっと…

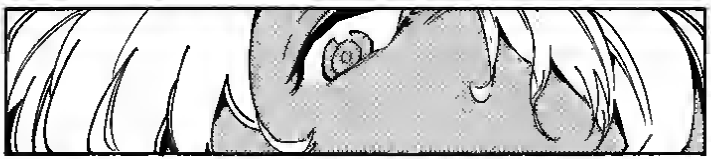
あなた達は
この枝が何なのか
わかった上で
折りに来てるのかしら？
そうよ

かつて…
この世界の
ねじれた地軸を
矯正するために
造られた…
巨大な
つっぱり棒


うん確かに
この生態環境を
造り出してる一つの
要因ではあるわ…
…それにそうね
生態プラント
それが一番
わかりやすい
理由かしら…
ん…


……
…ニィル

世界樹



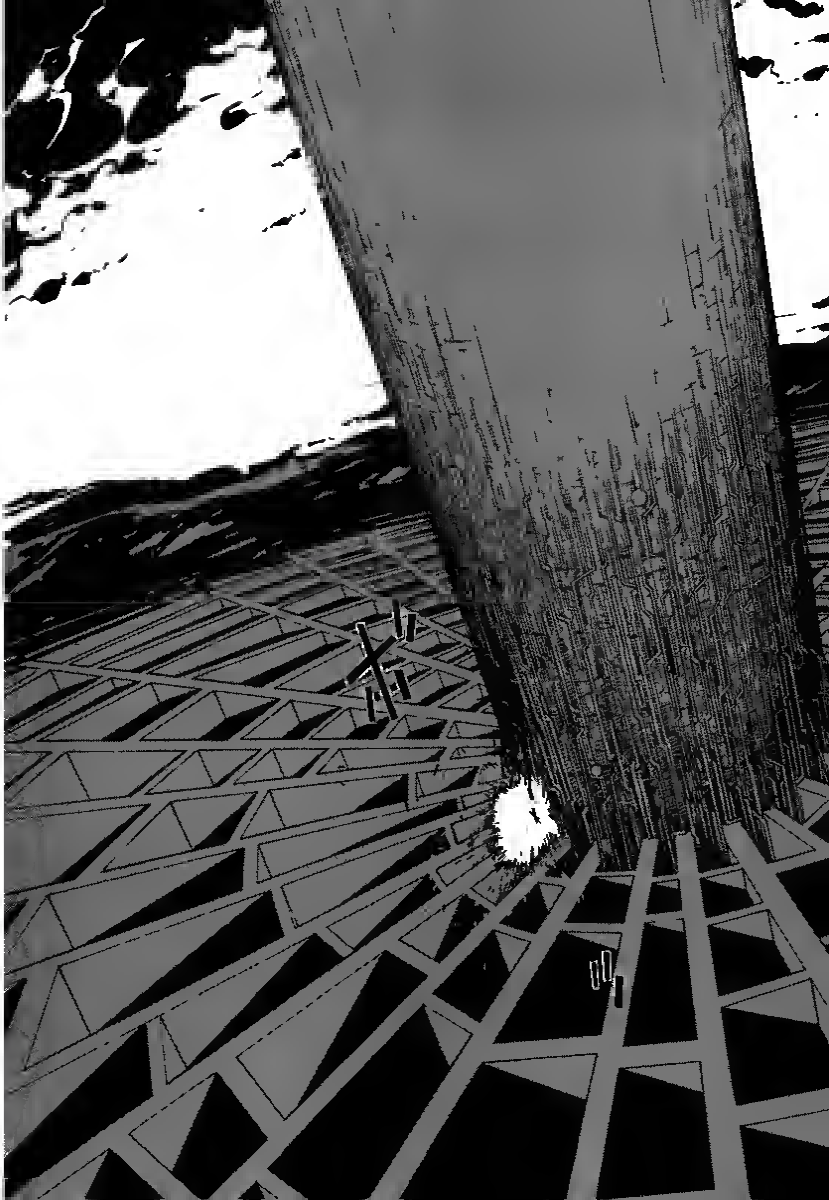
全ては
はじまり
全ては
おわっている
というのに

今さら
そんなものを
見つけた所で
それこそ
あの時
だから…一体
それに何の
意味があるの？

私は ただの
観測者で
傍観者
邪魔しないで
リュウマ
ト…？
じゃない
っ…
……
オレは
……
もう…
違う…
その
名は…
もう…

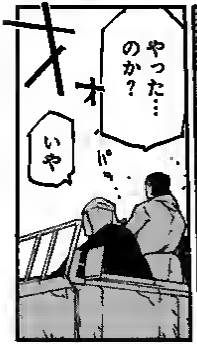
あいつの…
もんだ…
くたばれ

ジン



これはっ…
っ…

蹣王様から賜った…
ソールの黒点…


やった…のか？
いや

やったのか？
そうだこの爆発って…

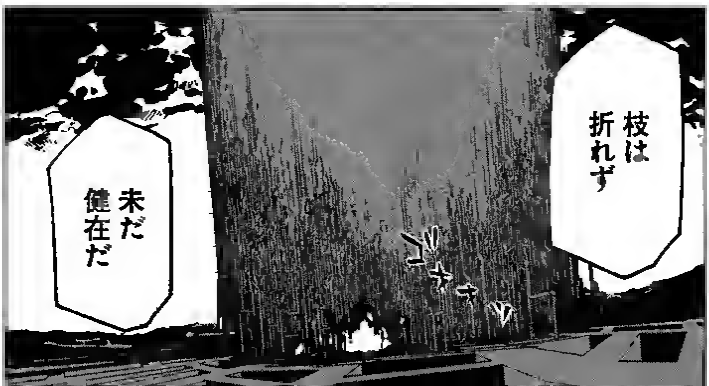
…
はやすぎる…

まだ中枢にだって入り込めてねえ時間だ…

まして脱出なんて…

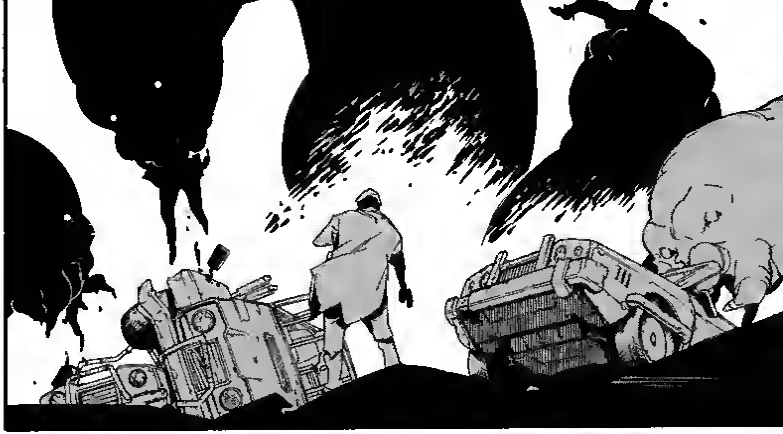
失敗だ…

がっは
!!
油断したな…
七番の…
どうやら貴様らの
謀は…水泡に
帰したようだな


枝は
折れず
未だ
健在だ

逃がしはせんぞ
ギリ…
貴様も
貴様の仲間も
ギ…
皆殺しだ
撤退!!
撤退だ!!
ちょっと待ちな!!
ボスは!
ボスはどうするの!!
オレはボスに任されてんだよ
このビッグボス団を!!
それにボスなら大丈夫だ!!

あの人が…
あの人達が死ぬわきゃねえだろ
ボスッ
はやくしろ手遅れになるぞ
お前ら戻れ!!
撤収部隊との合流地点に急げ!
!!
赤!
この発破を起爆させるんだ
くっ
くそ…失敗か
おい!撤退だ!!急げ!
いいか!!本隊がこの渓谷を抜けた所で
タイミングしくるなよ!!できる限り白皮を巻き込むんだ!!
いいな!



この先だ
ここを抜ければ!!
合流できる!!
持ちこたえろ!!
ドドドド
生き残るんだ!!
あと少しだ!!
おう

…退路が
断たれている…
なんで…
!!
ゴ
ゴ
っ……
そんな…
……
ボス…
ゴキ
ゴキ

っ…
はっ

ちきしょう
ここまでなのか?

こんな所で…

オレは…まだ
まだ何も成してねえ
そうだ…オレはまだ

リュウマに
あ…
な…
リュウマに
ほんっと…
お前さんは

あきらめの悪さだけはリュウマ並みだな

悪あがきを
死
!?
これは…
妖糸？
リュウマの意志は…
っ…
断たれとらんというわけか…
!!

ギシ
七番の
誰だ
てめえ…
妖糸の…
二番隊…
いや そんなこと
どうでもいい
ギリ…
この男は
ワシにこそ
縁が深い
いや
違うな

こやつこそ
ワシの不手際

任せて
もらおうか
ギリ

あ？なんだとこの…
それに
貴様にはまだ やるべきことがあるんじゃないのか？
……
ギリ…

貴様のアホみたいな仲間の元に凶用とはいえ爆発物を盛り込んだ巨大なコンテナがあったじゃろ
！
不発とはいえ…あれだけの爆発じゃ
まだいく分かの希望が残っていると思わんか？

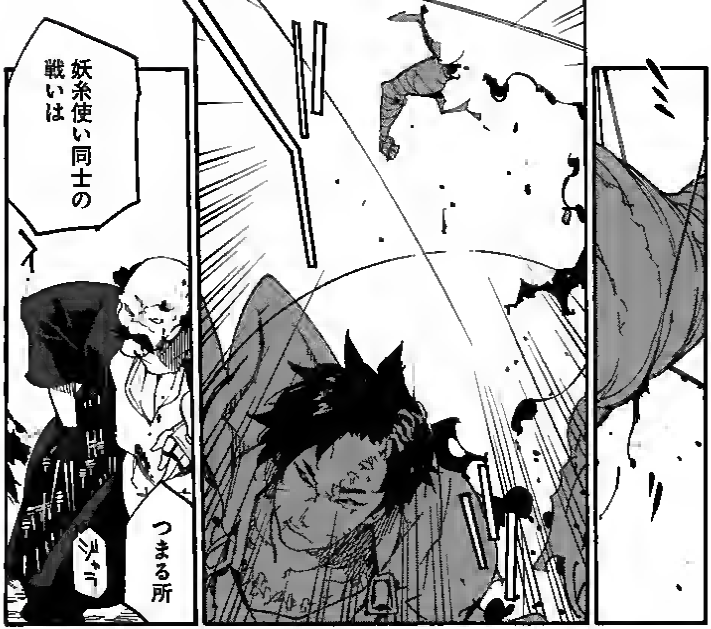
まったく…
いつの世代も…
若僧というんは
アホウに
見えるもん
なのかの

さあ
積み上げて
みせろ
ワシらの
上に
第10話／完

[第11話]

[第11話]

ふむ
ウデが何本になろうと…
そのクセは抜けぬか…
ぴと
動線を悟らせぬためのマントだと何度教えたか…
ガム
見ろ貴様の糸
ガ!!
捕えたぞ!

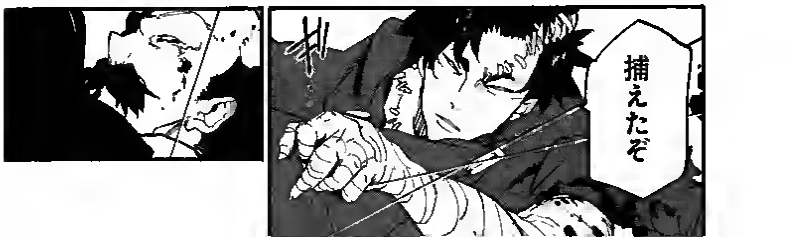

妖糸使い同士の戦いは
つまる所
ジャラ

貴様は
！
いかに相手を封じるか
詰め将棋
チャキ
いかに先手を取り

もう詰みだ
……
盤でも返さぬ限りな
ギャー!
ならば
…なるほど
!
ゴッ
ゴゴゴゴゴゴン
その盤

返して
見せよう

ドキ
グイ
キュ
！
別にあなたと技を競いたいわけではないのでね

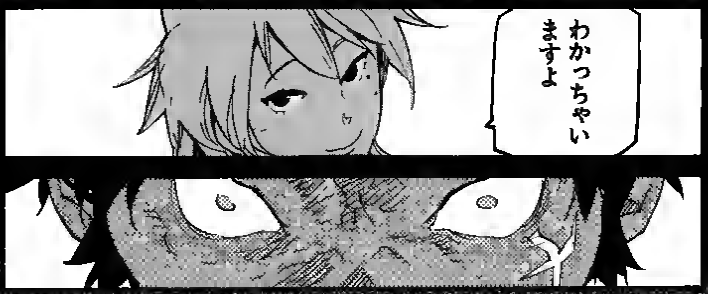

捕えたぞ

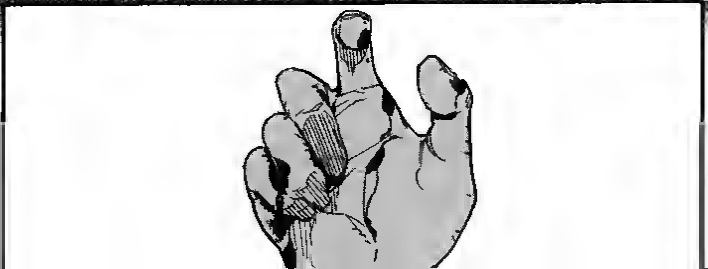
ミリ
ミリ
!
よもや…
その体勢から
反撃とは…
恐れ入る
だが
いつまで
耐えられる？

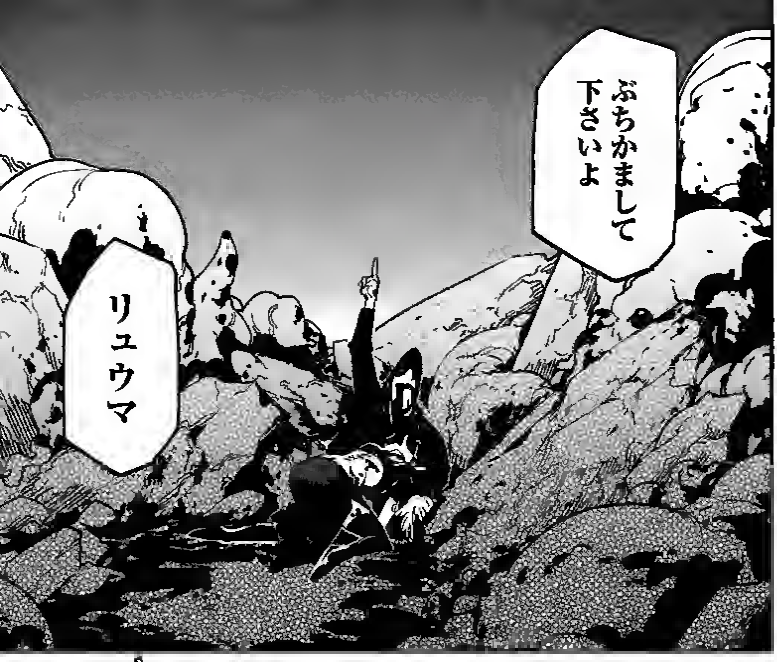
くそっ
どうなってやがる!!
あいつら やられちまったってのか?
コンオオ
いや 合流地点はまだ先だ
きっとそこに残ってるはずだ
あいつらも
発破も
!?
この音
!
キャギ

ボス!!
無事だったか!!
ナイスタイミングだ!!
この発破は使えるんだろうな!?
はい
なんだ?
この爆弾は…
イーグル隊長が…ボスにって…
きっとボスなら最後まで枝を折ろうとするって…
その時これを使うはずだって
オレ達を逃がして
退路すらない
白皮の中で…
「ボスに届けてくれ」って…

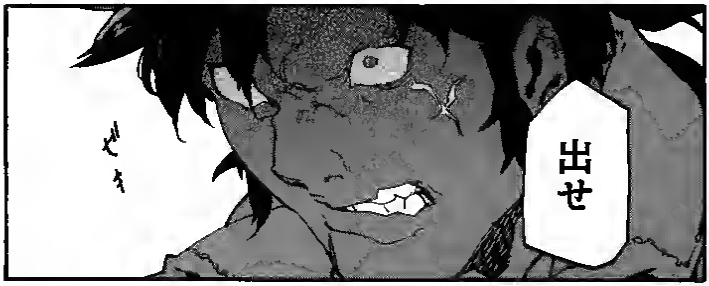
長い付き合いっスもん…






ぶちかまして下さいよ
リュウマ

ギシ…


出せ
ぐぐ

今から
残ったてめえらの命
ドルルル
はっ
はい!!
このリュウマが預かる
いいな?
笑え
え?

笑えぇ!!!
くっ…う…
くふふ
ふはは
はは
ギャギャ
はは！
はは
は!!
はははは
はは
笑え!!
はは
ギャギャ
そうだ…

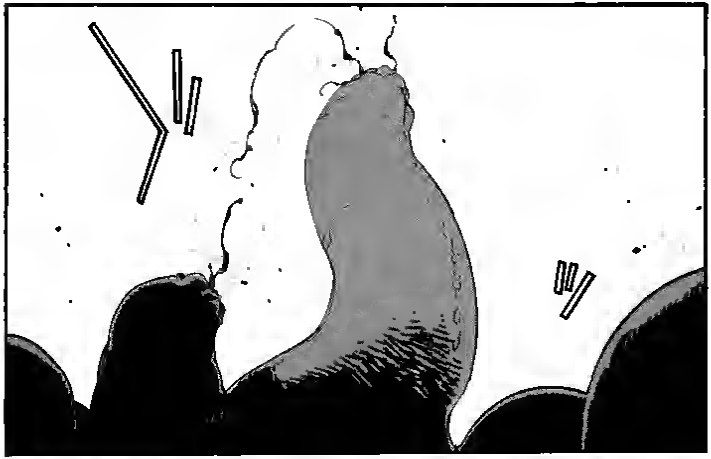
全ての犠牲の上に
その名を積み上げろ
あなたは
ずっとそうだった
リュウマリュウマと…
…貴様記憶があるのか？
この脳髄から妖糸…
そろそろ限界なのでは？
その出血量あなたの言葉を借りれば
その芸技を吸い上げる際に情報として
なんの感慨もありはしないが…それより

「詰んだ」
ということなのでは？
ボタ
どうかな
何度か貴様
には救えたと
思ったがの…
ポッ
妖糸の技に
はじまり…
波世術から
必殺の棋譜
女の口説き
までの…
そして
何より
白皮の
怖さ
という奴を

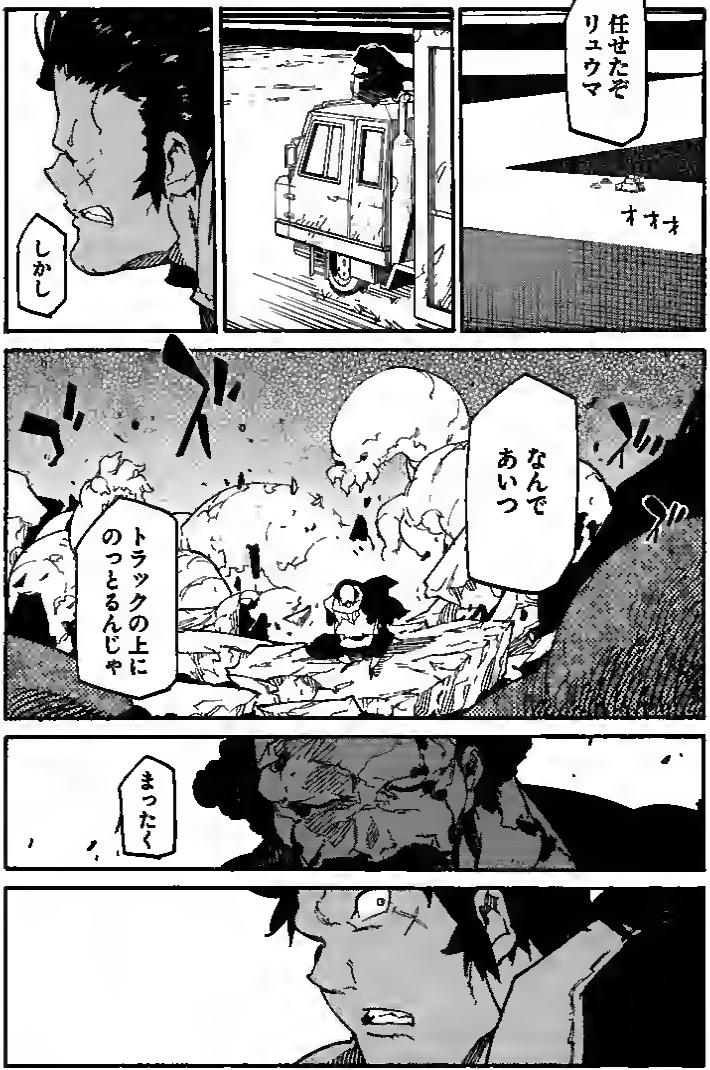
!?
なっ…
ギリ

白皮の同胞にでも
なったつもりじゃあるまいな？
よもや貴様…
人の頭 腕をとってつけていながら
何の匂いでごまかしていたか知らんが
ワシの返り血まで浴びては
さぞかし貴様は人間くさいだろうのう…
決まっとる
あえて私の技を受けて…
だが血の匂いというならあなたとて同じはず…
そこは運だの

さすがです
師父



まったく
手間かけさせ
よって…
ふむ


任せたぞ
リュウマ
オオオ
しかし
なんで
あいつ
トラックの上に
のっとるんじゃ
まったく

なんか白皮の数…偏ってますね!!
こんな簡単に第二ゲートまで入れるなんて…これはいけますよ枝まで!!
偏った?
違う…
あいつらが…
あのジジイが
偏らせたんだ
これは…
この道は
あいつらの拓いた道だ

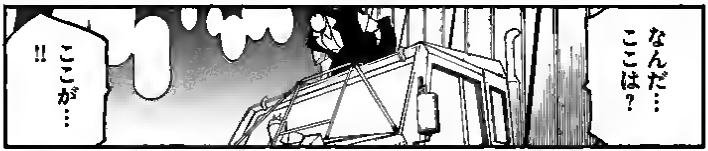
これより…
「枝」に
進入する!!

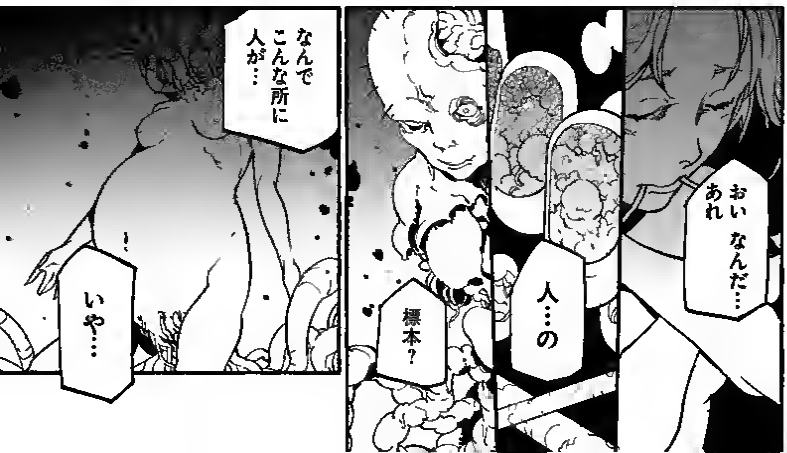
っ…
すげえ…っ
熱だ…
なんつう大穴だ
これが繭王の…

小型の…
反物質爆弾
とかなんとか
えらく
貴重とか
いってたな…
!

道が…
迂回路を
探せ!!
地図の写しが
あったろ
確認しろ!!
はい
行けます

第三…
四五…
すごい
センターまで
道が…
この道は
あいつが
造った
道だ
抜けます！


なんだ…
ここは？
ここが…
!!

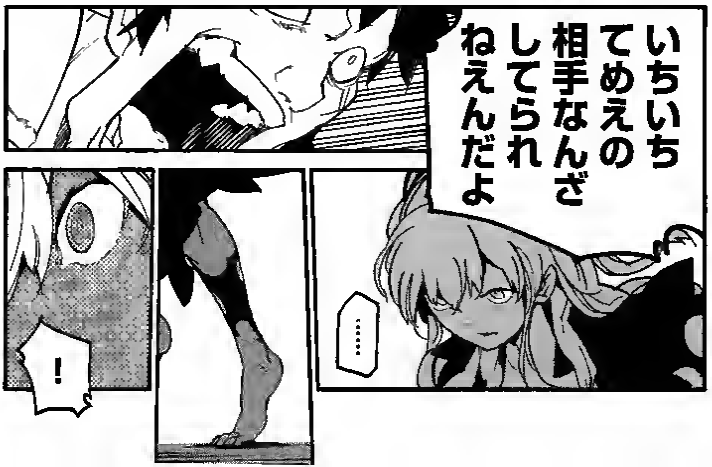

おい
あれ
なんだ…
人…の
標本？
なんで
こんな所に
人が…
いや…

……
こりゃあ一体どういう？
人が…白皮を…産んでる？
いや 産まされて…
白皮…
なのか？
そんなことも聞いてないの？

白皮は
人間なのよ
ざわ、
てめっ…
で…でも
どうなのかしら
！
少し語弊が
あるみたい
そ…そそうね
こっちの方が
ニュアンスは
近いかしら
ヒトの
代わりになるもの

ピク…
あ？
そうよ…だから
白皮とヒトは
争い
続けるの…
どっちが
優れているか
生き残るために
でも…
私は…
ちょっぴり
白皮よりの
観測者だから
ヒトよりの
あなたを
殺…

うるせえ
チビ助があ


いちいち
てめえの
相手なんざ
してられ
ねえんだよ
……
！

ゴ

なわけねえだろ

頭が沸騰寸前で
ッ…
おかしくなりそうなんだよ

ジンジン
ヒュー
ボス！
行け!!
どうせ爆弾とか
発破箇所とか
こまけえことは
オレ様には
わからねえ
そんな
ことより
そんなこと
より…だ！

第11話／完

[第12話]

中枢神経の
活性化による
集中力の
極増化
痛覚遮断
代謝の異常活性
等々要するに
強制超人化を
促すが
これは
ある種の
劇薬でもある
繭王様から
3本賜って
きた
3？ケチ
くせえなあ
リュウマの妖刀
ゴリラでも
3本たて続けに
使えば即死だ
…
あれとは違う意味で
コレも充分禁忌
なのさ…

で？その
妖刀と同時に
使うってのは…
可能なのか
コレ
ふっざけんな！
ゴリラでも即死する
劇薬！
使い続ければ
確実に廃人になる
人造妖刀！
んなもん
併用するって頭
わいてんのか!?
わあってるって
うっせえな
オレ様も
あんな刀
さわりたくも
ねえって
いいか
絶対に
妖刀と
劇薬
わかったって
絶対に
併用する
なよ
絶対に
だぞ

ああ
絶対だ
ゲキ
ゲキ
ベッ

かまいたち

大気を
操るって
のか
だが

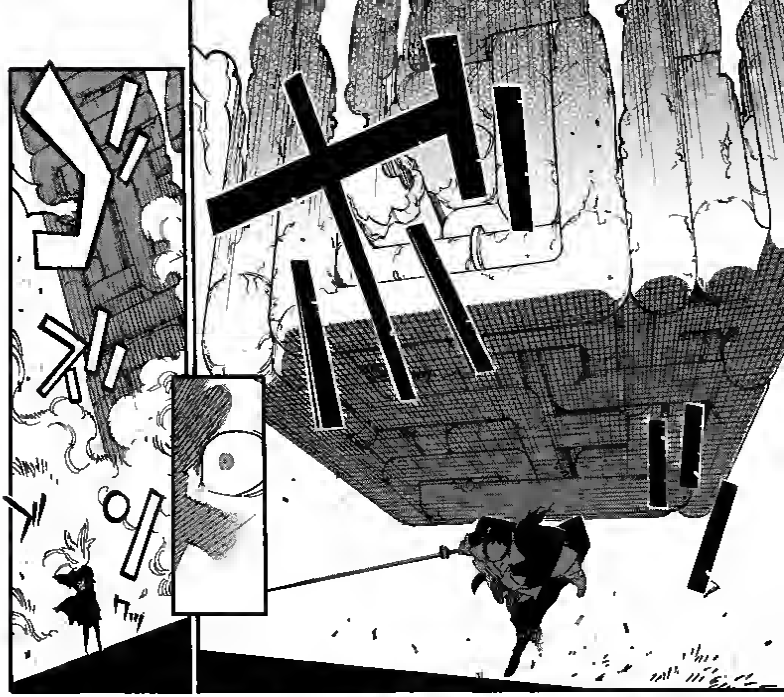
屋内じゃ精度が
イマイチなんじゃ
ないのか？

あら

ド ドウモ
その通りみたい
キン
キン

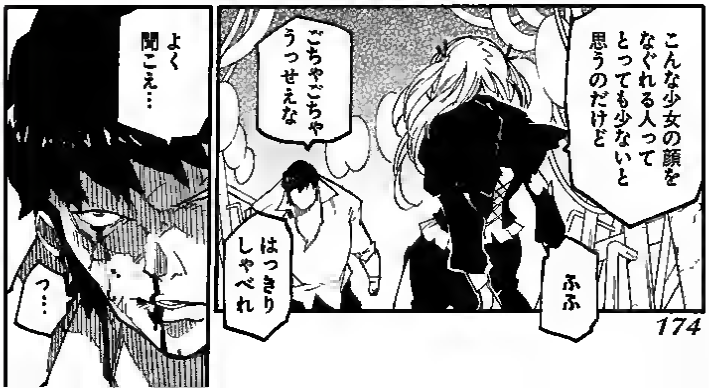
あな
あなた
キン
あなたとは
私の自力で

!?
こぉの
化け物があ!!
!


ボ
ゴ
ガ
ドカ
カーツ

ゴ
ガラ…
ガラ…
ギ…
ッ…
ズ…
あーあ

またキズ
増えちゃった
見えてるかしら
今まで数多の
リュウマが
つけてきた跡
…でも
顔に残したのは
あなたがはじめて
…かも
それも
二度も

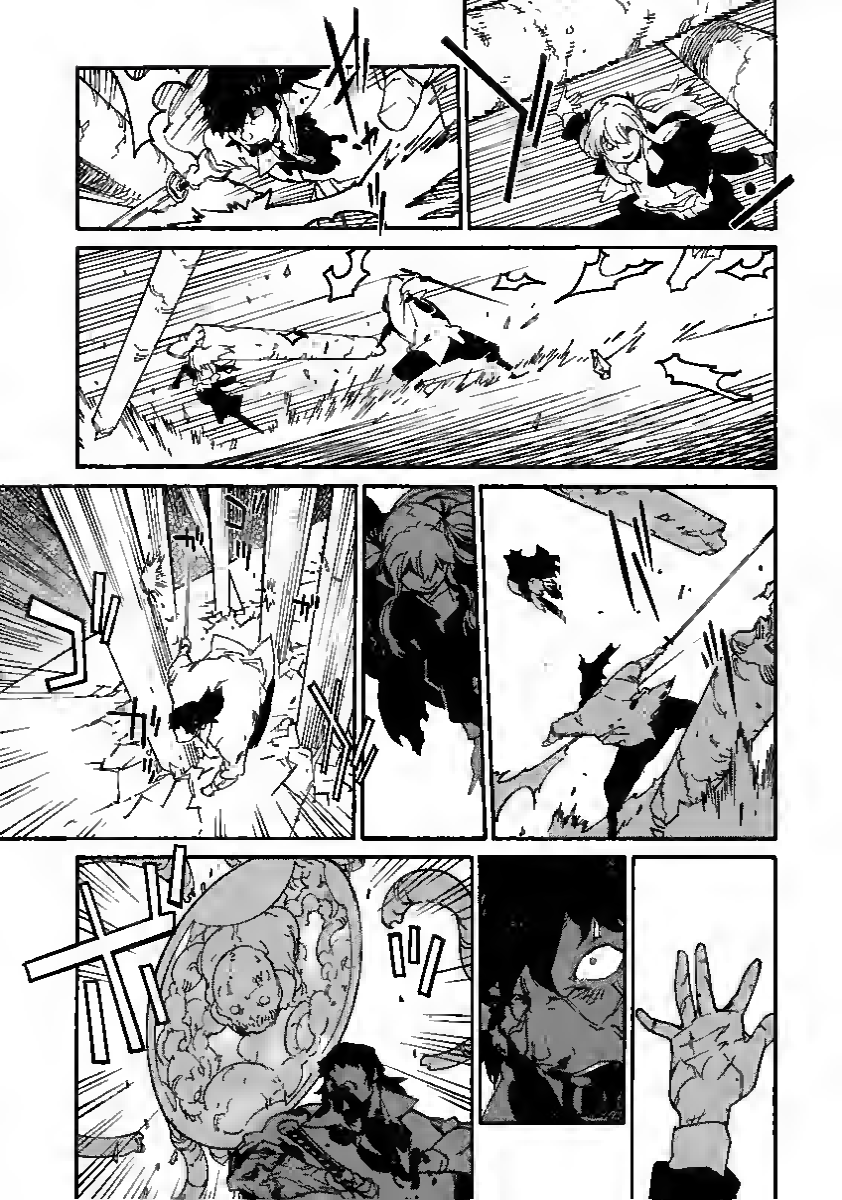

こんな少女の顔を
なぐれる人って
とっても少ないと
思うのだけど
ふふ
ごちゃごちゃ
うっせえな
はっきり
しゃべれ
よく
聞こえ…
っ…

あっ
？
ゴ
上腕二・三頭筋
断裂
各末梢神経
断裂
交感神経幹
裂傷
脊髄 後脳
脳血管破裂
ピク
ピク
……
あ？
脆すぎ

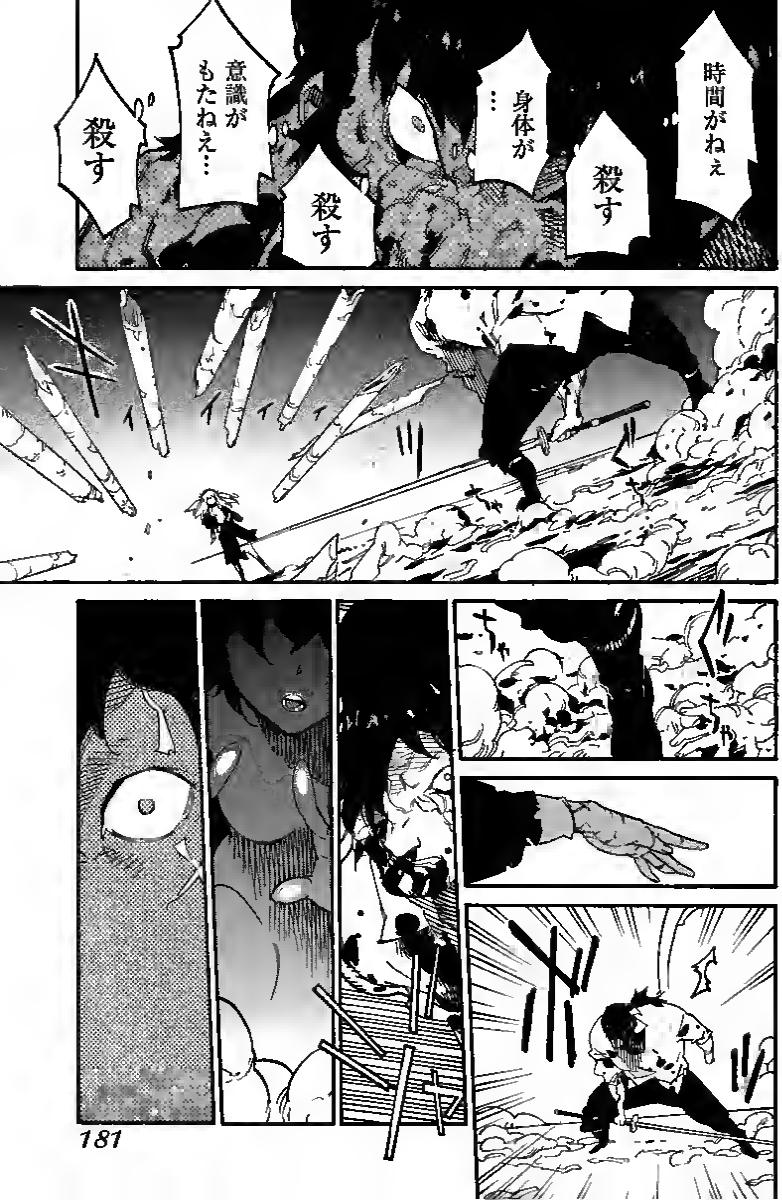
…待ちやがれ…どこに…いく…
あいつらを発破を止めにいくのか？
行かせねぇ行かせねぇぞ
まだ…
まだだ
こんなもんじゃねえだろ
ジャ…
こんなんで終わるわけには
ゲキ
ゴル…
いかねえ
ゲキ
妖刀よ
全部を
お前の欲しがるもんは全部持っていっただろ
そうだろ

もう少し
働きやがれ！
物欲し竿
ギ
ギ
ギ

同じだったものね
でも
あなたはいく分丈夫みたい

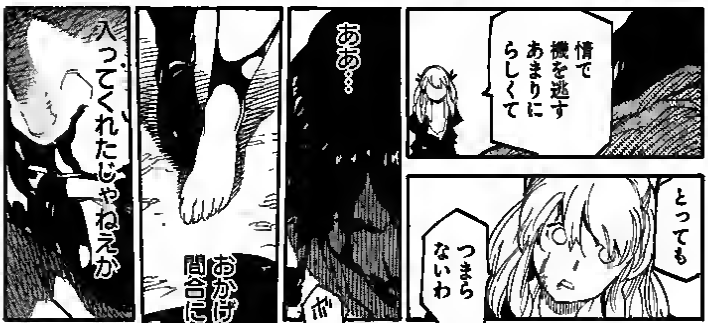


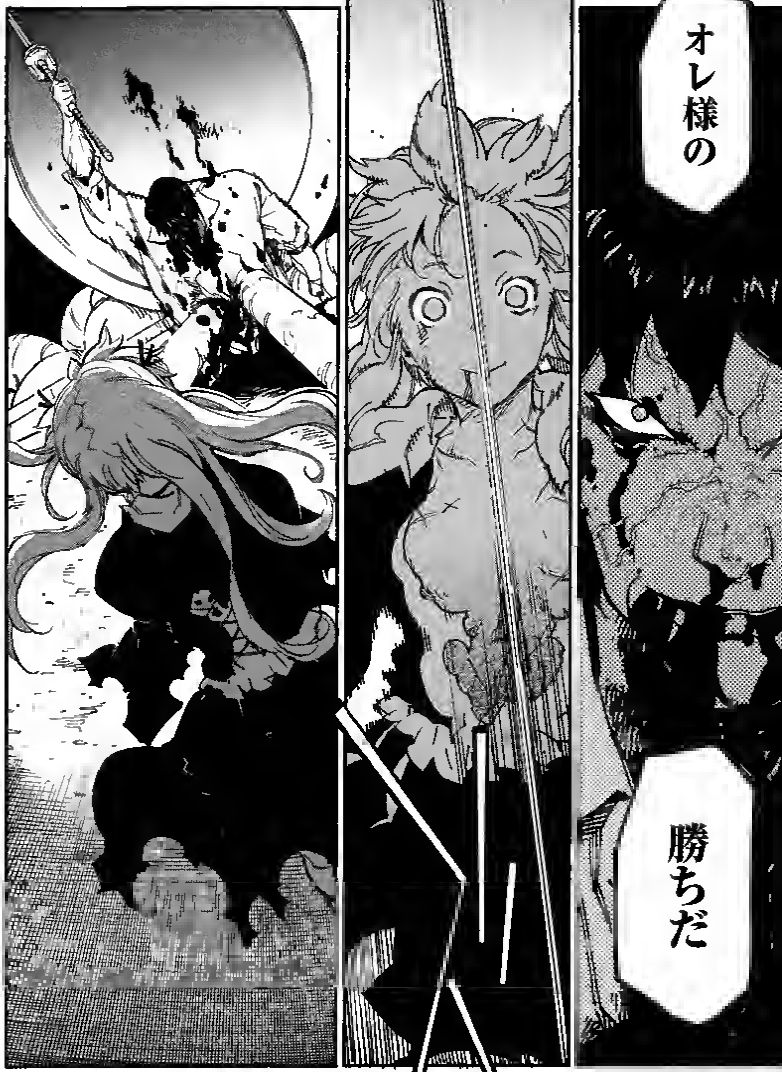
人が
皆
あなた程に
無茶を受け入れて
くれれば
何も問題
なかったのに
ぐぐぐ…
くん
殺す


時間がねぇ
殺す
身体が…
殺す
意識がもたねえ…
殺す

リュ
ウ…
マ…

チャ


とっても
つまらないわ
情で機を逃すあまりにらしくて
ああ…
ポケ
おかげで間合に入ってくれたじゃねえか


オレ様の
勝ちだ

刃が…
折れて
いなければ
あるいは

『私は』
殺せたかもね

リュウマ

……
とっても
間ぬけだわ

あの程度の
人員と
やったか
おう
退避
火薬で
この枝を
落とせるわけ
ないのに

…でも…
第八・九ブロック
に続いて
的確に
センターシャフト
の中枢まで
破壊されたと
なると…
なんか…
修復とか…
手間になって
しまったわ…
いいわ…

これはこれで
とっても おもしろい
かもしれない
残った
4本の枝
ゴボ
そこまでして
世界樹を
探すことに意味が
あるのか
ゼキ
ゼシ
このつっかえ棒が
何を意味していたか
思い出すいい機会
なんだわ…きっと
この世界に
残った枝

そのどこか移した
世界樹
それでも
リュウマの意志が
?!

ゴゴゴ
探し出して
みなさい
途絶えない
というのなら

なっなんだ
くずれ
出した？
やったのか
オレ達!!
いや…
そんな感じじゃ
なかったぞ…
きまってる
ボスだ!!
リュウマが
ビッグボスが
やったんだよ!!
つうか
これ
やべぇ
ボス!!
さすがっす!!
ゴ!!

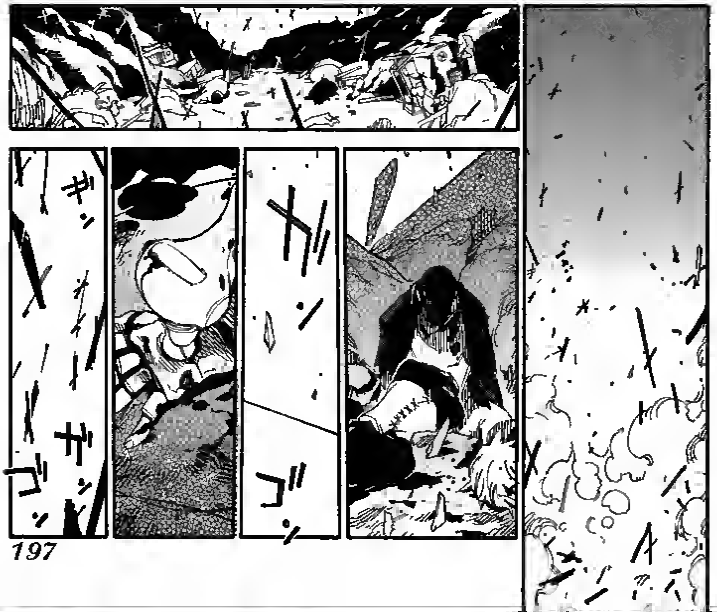
ズズズ
おい…これ…
なんだこの地震…
何が…起きた？
!?
枝が
落ちる
蘭王様
そんな…
まさか…
枝が

笑っておられるのか
まさか蔵王が
あいつら
……
ポツ
枝を…
王！ミズガルズ王
ゴォォォ
枝が

ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ

ボク
ボク

オレの名を…
くれてやる
代わりに お前の…


ガン
ゴン
ギン
ガン
ゴン

た…助かったのか？
き
奇跡だ
…
いや…
それなら…
この光景
こそが奇跡だぜ
空に…

枝がない
!?
ボスは!
やばい!
うもれちまってるのかも!!
ガシッ
さがせ!!
しかし…
ゴン
リュウマが死ぬわけねえんだ!!
オレ達が生き残ってあの人が死ぬわけねえだろ
絶対生きてる!!
絶対に
!
今の音!
こっちだいそげ
リュウマ様

「リュウマのガゴウ」②／完

eBOOKで
快適読書生活

http://www.ebookjapan.jp

電子書籍版

リュウマのガゴウ
2

宮下裕樹

© 宮下裕樹 / 少年画報社

Digital Distributor
eBook Initiative Japan Co.,Ltd.
http://www.ebookjapan.jp